

〔様式〕

平成24年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 51

千葉県立松戸六実高等学校全日制の課程普通科

1 期待する生徒像

本校を特に強く志望し、動機及び理由が適切で、本校に適応する学力及び適性を有し、次のア、イ又はウのいずれかの項目に該当する者

ア 学習成績に優れ、入学後も引き続き積極的に学習に取り組む意志を持っていること。

イ 運動系部活動等で優れた実績又は素質を有し、入学後も継続して活動する意志があること。

ウ 体育・文化・芸術活動及び特別活動や奉仕活動等の一芸一能に秀でており、入学後も活動実績等を生かして活動する意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各項目を基にして数値等で評価する。
(3) 志願理由書	本校入学の意思確認のための資料とする。
(4) 自己表現	自己表現の各評価基準により評価する。
(5) 面接	面接の評価基準により評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

下記のアの数値にウの数値を加えた合計値を調査書点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	3ヶ年の欠席日数の合計が、14日を超えている場合は審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録 ・部活動等の記録	学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・検定・その他の活動について、積極的に取り組んだ内容を本校の基準により数値化し、加点する。

(3) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由等	志願理由及び自己アピールの内容を確認し、評価する。

(4) 自己表現

ア 文章を書くことによる自己表現（1の期待する生徒像 ア，ウの受検者）

下記の3つの評価項目について、下記の評価基準をもとに評価する。

評価項目	評価基準	
ア 構成	論理的・効果的な文章構成であるか。	各評価項目について、本校の基準によりA, B, Cの3段階で評価する。
イ 内容	明瞭かつ具体的でわかりやすい表現であるか。	
ウ 表記	条件を守り、適切な表現であるか。	

イ 部活動の実技による自己表現（1の期待する生徒像 イの受検者）

下記の3つの評価項目について、下記の評価基準をもとに評価する。

評価項目	評価基準	
ア 意欲・態度	意欲を持って部活動に取り組む姿勢が見られるか。	各評価項目について、本校の基準によりA, B, Cの3段階で評価する。
イ 基礎体力・素質	十分な体力及び将来にわたり活躍する素質があるか。	
ウ 技能・知識	専門的な技能及びルール等、必要な技能・知識を身に付けているか。	

(5) 面接

下記の評価基準をもとに評価する。

評価項目	評価基準
ア 高校生活に対する目的意識と入学後の抱負	各評価項目について、身に付いているか、しっかり表現できているか等を本校の基準によりA, B, Cの3段階で評価する。
イ 中学校で積極的に取り組んできた内容及び、一芸一能の紹介・披露	
ウ リーダーシップ，行動力，表現力，実践力	

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「自己表現の成績」、「面接評価」、「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(ア) 「学力検査の成績」と「調査書点」の合計により順位を付け、学力検査の成績、調査書点、出欠の記録、自己表現及び面接の評価において、本校が定めた基準を上回る者を入学許可候補者内定者とする。

(イ) 上記(ア)に該当しない者について、「学力検査の成績」、「調査書点」、「自己表現の成績」、「面接評価」、「志願理由書」等を総合的に判定して、各資料に問題のない者から入学許可候補者内定者とする。

但し、以下のいずれかの場合に該当する場合は慎重に審議した上で入学許可候補者の内定を行う。

ア 自己表現及び面接でC評価がある。

イ 3ヶ年の欠席日数の合計が、14日を超えている。

但し、欠席の理由が特別な事情（いじめや不慮の事故・怪我・病気等）の場合は考慮する。

(2) その他

ア 内定者の内、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の範囲内であることを確認する。

イ 自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、上記2の(5)の面接の他に、話を聞く機会を設ける。

